

編集後記

本号に掲載されている「巻頭言」,「研究と報告」ならびに「短報」などに共通したキーワードは「必要な方々への適切な医療の提供」ということで一貫している。このように臨床での経験に根差した玉稿が集まり,また読者の反響の指標である「Letters to the Editor」も活発になっていることに改めて感謝したい。この適切な医療の提供のためには個々人の治療反応性や副作用出現リスクに基づく治療ガイドラインの作成が必要となり,日々の臨床経験を蓄積したエビデンスの構築が必須であるが,現状でのエビデンスの大半はグローバル製薬メーカーの臨床治験データである。感情障害の治験を考えると,双極性障害が除外され,重症で同意能力を欠く患者ならびに自殺リスクのある患者も除外され,年齢は18~65歳に絞って実施された治験であるため,一般臨床での個別医療への適応には制限がつくことになる。

また,うつ病での臨床治験では placebo の有効率がしばしば高く,薬効から除外されるので,臨床治験結果をエビデンスとして蓄積する場合に考慮が必要となる。しかし,この placebo 効果は脳科学における最近の重要な研究課題の1つになっており,薬物療法によるうつ病での臨床効果に関連して変化する脳部位と変化の様相は placebo による効果と類似しており,精神療法による効果とは類似点と相違点を有するという興味深い成績が報告され, placebo の効果が必ずしも精神療法の効果と同様ではないことを示唆している。また,大脳基底核病変を有する神経疾患にも placebo 効果があることが報告されている。したがって,治療に参加している当事者の不安や期待・信頼などに関連する脳内の機序による影響が大きいことになり,実薬の効果の評価を低めるものではない。もし, placebo 効果の高い群と低い群の見極めが可能となれば,自分の脳内機序によって自力で回復しつつある群を特定でき,実薬の使用を早期に減量中止することも可能となる。

したがって,わが国における一般臨床での経験をエビデンスとして蓄積できる大がかりな仕組みづくりが必須ということになるが,このような医師主導臨床研究の成果がいずれ本誌に報告されるようになることを願っている。

北国では平地でも雪模様,関東でも木枯らしが吹くようになっており,今後,全国的にもいっそう寒さに向かうことと思いますので,皆様くれぐれもご自愛ください。(M.M.)

■ 編集委員

朝田 隆
飯森眞喜雄
井上 新平
小島 卓也
小阪 憲司
松本 英夫
松岡 洋夫
三國 雅彦
(ABC 順)

精神医学 (第52巻 第12号)

2010年12月15日号 (毎月1回15日発行)

1部定価 2,625 円 (本体 2,500 円+税 5%)

2010 年々ぎめ予約購読料 30,600 円・電子ジャーナル閲覧オプション付 39,800 円 (税込,送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・山崎

Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株)ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・ **JCOPY** (社)出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は,そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3515-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。